

ホーム名：グループホームくすのき（2階）					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体で共通の理念を事業所の理念とし、実践しており、職員研修の際、理念を具体的なケアにどう繋げていくかを学習しています。	本ホーム理念と設立法人の理念はその福祉精神を通じて共有しており地域に対しても福祉事業を通して貢献しようとしている。職員は互いに自己研鑽に励みスキルアップの成果を利用者の支援に繋げるように努力している。	毎日の支援活動の中にも職員が理念に対して常に新鮮な感覚を抱き続けていかれるよう期待していきたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	町内会の回覧板・掲示板で地域のイベント、小学校の行事、祭りなどを知り、可能な限りご利用者様と参加し交流を深めています。また、施設行事にも可能な限り地域の方にも参加して頂いています。	近隣との交流の重要性は強い認識を持たれている。町内から得られた情報や民生員を通じての連絡などから事業所は地域的役割を担おうとしている。季節行事、学徒や園児との出会い、ボランティアの受け入れなど幅の広い付き合いの展開がなされて	事業所が地域の一人として活動するにあたり、今後の方向性としては、地域参加的なものから協働的なイベントの模索を試みられてはどうか。時間をかけた研究を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議においてご利用者様の生活状況を報告し、認知症のご利用者様の現状等に理解頂けるよう努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を行い家族の方や地域の方にも参加していただき意見交換、要望を聞きサービス向上に努めています。	運営推進会議は二か月毎に開催されている。参加者は包括支援職員、民生員、老人会会長、利用者家族、小規模多機能家族等。議題は行事予定、地元との交流、事業所内出来事、研修の開催、感染予防対策そして多岐に亘る情報交換が行われている。	法人からの医療関係者なども招待されれば感染予防対策にも専門的な意見が入手しやすい。また、一般的な医療の知識も得られやすい。一考させて頂きたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括支援センターに必ず運営会議に出席頂き、意見・情報を貰う等良好な関係を築いています。市の保護課のケースワーカーには担当の利用者について様子を伝えたり、必要な手続き等連絡・相談を行っています。	本事業所の運営上の客観的な意見の提起など市町村に求めやすい関係づくりの模索をしている。事業所の取り組みは継続的であり、現況的には報告、相談が主体であるが信頼関係が進みつつある段階といえる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束の弊害や悪影響について職員全員が理解するために定期的に勉強会を開催したり、職員で自主的に話し合うなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束のない介護支援を実践している。管理者は拘束弊害についての勉強会を開き、元来あるべき福祉介護の再認識の徹底化と、職員どうして話し合われスキルアップへと繋げている。居室のセンサーは拘束とも考えられるとの事から使用はしない。フロアの施錠は利用者の安全を守る為のものである。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてもホーム内で研修を開き職員一人ひとりがお互いに気を付け見過ごす事のないよう防止に努めています。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現利用者様の成年後見人である弁護士の方から助言を頂いて、グループホーム内で研修を行い活用できるよう体制をとっています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約・退居解約時には十分な説明を行い、不安のないように努めています。また改訂時には家族に連絡し、理解・納得が得られるように説明しています。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や運営推進会議等を活用し、意見・要望を聞き運営に反映できるよう努めています。</p>	<p>家族の訪問時によく意見や要望が話されている。平素の支援と関わる事柄が多い。また、年2回の家族会議や運営推進会議にも意見や要望が提出される。事業所は全体的なバランスの下で勘案し反映できるように努めている。</p>	<p>訪問時の意見や要望は全て連絡帳に記録され職員が一見し共有し合えるような体制作りにはされてはどうか。また、メールの利用も促してみても如何だろうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>随時ミーティングや個別聞き取りの機会を設け、職員の意見が反映できるように努めています。</p>	<p>職員は会議ある毎に自らの意見や意向を求める事が出来る。または個別に意見を聞いてもらう時もある。意見の多くは業務関係全般に及び事業所として改善の気運を与えるものである。管理者や法人は意見調整を図らい反映可能な形で実践している。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は各職員の適材適所を見極め、各ポジションに配置しております。失敗を恐れず、何事にもチャレンジできるような職場環境を整備しております。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人事業所内研修を行い一人ひとりの、力量を把握し、良いところを伸ばせるよう指導し、意欲的に働けるよう努めています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同業者との連絡会に参加し、情報交換を行い、サービスの質の向上に努めています。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前には居宅介護支援事業所や病院から情報を得ています。また、困りごとや不安等本人の話をよく聞き、表情や行動から変化がある時はより積極的に関わるように努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者本人及び家族様から今後への思い、要望などを聞き、家族様ともに安心して頂けるように努めています。また面会時にはご本人の様子を伝えたり関係づくりに努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者本人及び家族様からの会話やご本人の身体状況からニーズを導き出し、サービスを見極め必要とされるサービスを提供できるよう努めています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その人に合った環境の下、役割活動を通し生活を共にし職員と利用者様が共に支え合えるような関係作りに努めています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や電話連絡等で日々の様子を報告し、ご利用者様のことを相談させていただいたり、共に考えられる関係を築けるよう努めています。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域で暮らす知人や、友人が訪ねて来られたり、馴染みの場所へ出かけたり、関係が途切れないように努めています。</p>	<p>かつての馴染みの方が訪問された場合には利用者として話しやすい立場を用意している。家族からの申し出があれば墓参りにもしてもらったりしている。行き覚えたスーパーや美容院に行く事もある。事業所は利用者の望みが叶えられるよう十分な配慮を</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>話が苦手な方や、居室で過ごす事の多い方には声かけし役割活動やレクを通し、利用者同士が関わり合えるよう努めています。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>お亡くなりになられた方の葬儀には参列し、ご家族様に故人との入所中の思い出をお話するなど、これまでの関係を継続できるように努めています。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所後も随時、利用者と話す機会を持ち、入所生活についての不安、不満等を払拭できるような環境を整えております。職員から積極的にお声がけし、利用者の思いを聞き出せるよう努めています。	利用者がリビングにいる時も居室にいる時も常に話し掛けをして利用者に寄り添う支援をしている。職員どうして話し合いもし自分の意向を旨く表現できないもどかしさをよく理解して支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入所時の聞き取りの際、家族より暮らしぶり等を聞き、又本人との会話の中で今までの、生活状況を聞き把握に努めています。職員から積極的にお声がけし、利用者の思いを聞き出せるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の、心身の状態を把握し1人ひとりに合った過ごし方が、できるよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者が、自分らしく暮らすために本人や家族の要望を家族面会時に、話し合ったり、電話をするなどして、介護計画の作成に活かしています。本人のADLや職員からの聞き取りを基に必要であれば随時プランを見直しています。	介護計画の基幹は利用者のモニタリングを中心として主治医の助言、看護師の意見、ADLの記録の分析などを勘案しサービス担当者会議で承認された上で作成される。利用者が高齢である事から見直しは常時必要である事の認識もし現実に即した対応をしている。	前回の目標達成計画で介護計画書の改善を模索中とある。何度かの試行錯誤も経験される事でしょうが職員や家族が見やすい形式での完成をお願いしたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子 変化について介護記録に記載しその都度話し合い職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に合わせた柔軟な支援ができるよう職員間で話し合いその時々合った支援が行なえるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事等民生委員の方や、自治会長さんの協力をいただきながら楽しい生活が送れるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に入所前のかかりつけ医の医療機関で受診して頂いております。本人及び家族様の意向により、協力医療機関へ受診されることもあります。	法人本部が医療機関である事から家族には系列の協力病院である楠病院の診察を受けている。協力医からの診断書は職員が内覧できるよう共有化が図られている。利用者家族が入所前からのかかりつけ医を希望された場合はその継続も認められてい	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関と24時間の連絡体制を敷いております。看護師にはいつでも相談できるような関係を築いております。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は入院機関へ必要な情報提供を行い、退院時には入院中の状態・留意事項等の確認を行い、退院後ホームでの生活がスムーズに送れるよう体制を整えています。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族に本人の状態を報告し重度化した場合は家族と話し合い何処までできるか十分説明しながら方針を共有できるよう取り組んでいます。</p>	<p>入所時に本事業所で実施される福祉支援の全容を説明している。特に主治医が重度化に向かい始めたと判断した時点で再度、家族と最終的な話し合いをする。事業所では治療的な面では出来ない事もありその点について充分で納得のいくような説明をしている。</p>	<p>利用者が重度化した場合の支援のあり方については、職員に対してのより詳しいマニュアル的な研修をされるよう期待したい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の他事業所の研修に参加し、急変時及び事故発生時に対応できるよう心掛けております。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を行い利用者のスムーズな避難方法の習得に努めています。地域での防災訓練にも可能な限り参加させて頂いております。</p>	<p>消防署の立ち合いの避難訓練は年一回実施される。火災発生を想定し通報係が消防署に模擬通報する。利用者全員が建物の外の駐車場に避難誘導される。事業所ではガスは使用せず I・H 器具を使って調理している。食料や介護用品の備蓄は確保されている</p>	

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉づかい等、接遇に気をつけ尊厳をもって対応するように周知しております。 声掛けひとつでスピーチロックという身体拘束になることを心掛け、職員同士気付いたことを注意しています。	接遇に関する研修を通じて日頃からの言葉使いが大切である事を指導している。名前はさん付けをし言葉のなし崩しを防いでいる。特にプライバシーの確保については慎重な配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で本人の希望や思いを汲み取り自分で決められるよう支援しています。意思表示が出来ない方でも表情や動作で分かることもあるため反応をみながら把握できるように努め		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員がお手伝いしたくなるような時もありますが、本人のペースや希望に添えるよう時間に余裕を持つてのケアに努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が決めるのではなく自分で着たい服を選んで頂き、決められない方については一緒に選び支援しています。女性の化粧についても自身でしていただき出来ない部分を援助するよう		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事には、利用者と一緒にしながらイベント食を楽しめるようにしています。職員と一緒にテーブルやお盆拭き、配膳を行って下さっています。	利用者に食事を楽しんでもらう主旨から可能な限り料理を手伝ってもらっている。卵焼きをフライパンで返す方は生き生きとした表情があった。正月の七草粥やクリスマスケーキは喜ばれているとの事。利用者は職員と一緒に食事をする事が楽しそ	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	個々に記録を行い十分水分が取れているか、食事がとれているか確認しています。摂取量が下がっている場合は主治医に相談し、対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに合った口腔ケアを行い 汚れや臭いの無いように支援を行なっています。また口腔内清潔に努め誤嚥性肺炎の防止に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを把握し1人ひとりに合わせ たトイレ誘導をおこない日中失敗の少ない方は布パンツまたは布パンツにパット夜間も 個人に合わせて自立に向けた支援を行なっています。	管理者は職員と合同で会議を開き排泄チェック表を基本にしながら一人ひとりにみあった自立支援体制を敷いている。階段の昇降が可能な方は少しずつ訓練を行い出来る限りトイレ誘導に向けた取り組みをしている。	自立支援は直ぐに効果が現れない面もあり時間を掛けた長い支援が求められます。基本的には歩行訓練になりますが、これからも自立に向けた支援の模索をお願いしたい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬の処方だけに頼らず、食事や水分量などをこまめにチェックし対応しております。居室で過ごすだけでなく、散歩やレクリエーションで体を動かすよう声掛けしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの入浴のタイミングに合わせて施行しています。また拒否がみられる方には何回か声かけし、その方のタイミングを図り入浴できるように対応しています。	入浴は週に二回実施するようにしている。中には拒む方もいて時間差で声掛けしたり日時を変更する時もある。洗髪と湯の入れ替えはその都度おこなう。湯上がり時は下着交換する。入浴剤は使わないが季節の柚子湯などして楽しんでもらっている。	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中役割活動や散歩に出て気分転換を図りゆっくり体を休めるよう支援し眠れない方についてはお茶を一緒に飲みながら話相手をし落ち着けるよう支援しています</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容を理解し、その日の体調状態を把握するよう努め変化があれば主治医に相談するようになっています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>行事の際はメニューを利用者と一緒に考え買い出しを一緒に行うこともあります。個々の出来る事を大切に職員と共に行い気分転換が図れるよう支援しています。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>職員と一緒に散歩に出かける機会を設けております。利用者の希望により買い物に行ったり、家族の協力の下外出や外泊を行ったりし、家族との時間が過ごせるよう支援しています。</p>	<p>週一回は外出するように心掛けている。事業所の菜園で水やりをしたり近くの木屋元町公園まで出かける事もある。この公園は桜見物にも利用している。内部行事用の食材を買い出しにスーパーに行き楽しんでもらったりしている。家族の協力があれば外泊も受入れしている。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持は基本的に禁止しております。どうしても所持したい場合は、トラブル防止のため家族様の許可の下施設で管理する体制を整えております。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人、家族様の希望により電話を掛けたり、手紙を事業所宛てに送ってもらったり、職員が投函したり、自由にやり取りして頂いています。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホールには季節の壁画を飾り四季をご利用者様に感じていただくよう工夫しています。ソファを置きゆったりと、利用者様が集まりやすい空間作りを心掛けています。家庭菜園での収穫及び食事での提供も季節感を味わいながら皆様楽しみにしています。</p>	<p>リビングは明るく利用者が長時間憩えるように、机、椅子の配置もほどよくしてある。テレビの音も程よい。季節の飾り物も楽しさと潤いを与えている。温かな共用空間の中で職員と利用者は旨く溶けあっている。少し離れた入り口付近は訪問者用の仕様にされている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを置きゆったりと過ごせるよう工夫し利用者一人ひとりが自分のペースで過ごせるようにしています。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋には自分の好きな物や思い出が詰まった物を置き本人が落ち着いて過ごせるように工夫しています。</p>	<p>自分だけの空間でもある居室は長年親しんできた家具や置物等が設置されその人だけの生活感が醸し出されている。掃除はスタッフと一緒にする事が多く綺麗にされている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置や余裕のある空間など、利用者が安心・安全に過ごしていただけるような環境を整備しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない